

令和6年12月定例会会議録（第2号）

令和6年12月4日 水曜日 午前10時00分開議

鈴木 富美子 議長 金子 豊美 副議長

出席議員（15名）

1番	平井直之	議員	2番	鈴木英則	議員
3番	勝見英一朗	議員	4番	鈴木裕	議員
5番	鈴木悟司	議員	6番	鈴木一則	議員
7番	渡部正之	議員	8番	竹田陽一	議員
9番	内谷邦彦	議員	10番	渡部秀樹	議員
11番	浅野敏明	議員	12番	金子豊美	議員
14番	梅津善之	議員	15番	今泉春江	議員
16番	鈴木富美子	議員			

欠席議員（1名）

13番 平進介 議員

説明のため出席した者

内谷重治	市長	齋藤環樹	副市長
竹田利弘	政策推進参与	高石潤一	危機管理参与
新野弘明	総務参事兼地域づくり推進課長	梅津義徳	厚生参事兼福祉あんしん課長
渡邊恵子	総合政策課長	鈴木和夫	財政課長
逸見睦子	市民課長	梅津宏明	代表監査委員
土屋正人	教育長	青木邦博	技術参与
赤間茂樹	産業参事兼商工振興課長	佐藤久	建設参事兼上下水道課長
竹田洋	教育次長兼学校教育課長	若月由紀	建設課長

事務局職員出席者

鈴木敏久	事務局長	小林克人	副主幹兼補佐
小阪桃子	議事調査主査	安達洋司	技士

市 川 明 絵 主 任

議 事 日 程 (第 2 号)

令和 6 年 1 2 月 4 日 水曜日 午前 1 0 時 0 0 分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

1 1 番 浅 野 敏 明 議員

3 番 勝 見 英一朗 議員

9 番 内 谷 邦 彦 議員

1 0 番 渡 部 秀 樹 議員

6 番 鈴 木 一 則 議員

本日の会議に付した事件

議事日程 (第 2 号) に同じ

開 議

○鈴木富美子議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、13番、平進介議員の1名であります。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○鈴木富美子議長 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は、答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、勝見英一朗議員から、資料の配付について申出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

それでは、順次、ご指名いたします。

浅野敏明議員の質問

○鈴木富美子議長 順位1番、議席番号11番、浅野敏明議員。

○11番 浅野敏明議員 おはようございます。

トップバッターは令和3年の3月以来でありますので、どうぞよろしく願いいたします。

このたびは3項目の質問をいたします。

早速1番目の質問、脱炭素地域づくりの推進について、ご質問いたします。

国は、2020年10月に、2050年までのカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。全国の自治体でも同じ目標を掲げて、ゼロカーボンシティを目指すところが増えています。2024年9月時点で、全国46都道府県、646市区、430町村でカーボンゼロを宣言し、県内では、長井市を含め10市14町でカーボンゼロの宣言をしています。脱炭素地域づくりとは、脱炭素を通じて地域課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる地方創生に貢献する取組ではないかと思えます。

本市では、今年の3月策定の第4次長井市環境基本計画において、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティに向けて取り組むことを宣言しました。

ゼロカーボンとは、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにすることを意味します。ゼロカーボン化するためには、太陽光発電やバイオガス発電といった再生可能エネルギーの普及、拡大がCO₂の排出量の削減につながります。そのためには、市の取組のほか、家庭や産業部門で発生するCO₂排出量の削減を実現することが求められています。また、温室効果ガスの排出量を減らすだけでなく、吸収する森林などの樹木も同時に増やさなければなりません。

本市の再生可能エネルギー普及、拡大の取組としては、長井市地域脱炭素プランが進められています。今年度、バイオガス発電設備整備事業の着手をはじめ、重点対策加速化事業によって太陽光発電を給食共同調理場敷地内へ設置し、その発電量を施設の電力として活用する計画をはじめ、自家消費型発電の支援や蓄電池設置への支援などが計画されています。今後、公共施設への太陽光パネルの設置によるCO₂削減の拡大をはじめ、さらなる再生可能エネルギーの